

令和6年度第3回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 令和7年1月31日（金）午後1時～午後2時
- ・ 場 所 さいたま共済会館501・502会議室
- ・ 出席委員 10名
 - 【被保険者代表委員】
長島委員、東海林委員
 - 【保険医又は保険薬剤師代表委員】
廣澤委員、出浦委員
 - 【公益代表委員】
逢澤委員、城下委員、伊藤委員
 - 【被用者保険等保険者代表委員】
増尾委員、榎原委員、菅本委員

1 議事（1）令和7年度国民健康保険事業費納付金等の本算定について <事務局>

- ・ 資料1により、令和7年度国民健康保険事業費納付金等の本算定について説明。

【主な質疑・意見】

- ・ 高額医療費負担金の対象となるレセプト1件当たりの金額の引上げによる差額は、被保険者の負担になるのか。
- ・ 国の係数に基づき納付金を算定するだけでなく、係数の内容をしっかりと把握すべきである。
- ・ 令和7年度における保険税の引上げを予定している自治体は、いくつあるか。
- ・ 納付金算定の結果を受けて、市町村における保険税率の引上げ幅がどうなったか等を把握しているか。
- ・ 各市町村の税率改正状況に関する資料を運営協議会の資料としてほしい。
- ・ 納付金額は来年も増えるのか。
- ・ 無収入や低所得者もいる中での保険税引上げについて、どのように考えているか。
- ・ 市町村から、保険税水準の統一が困難であるという意見はないのか。
- ・ 市町村から、納付金が増えていく中で、法定外一般会計繰入れをしないこととするのは困るという意見はないのか。
- ・ 保険税必要額が増えているが、滞納世帯も増えているか。
- ・ 低所得者世帯は滞納する割合が多いのか。
- ・ 高収入の滞納者に対しては、どのような対応を行っているか。
- ・ 以前よりも被保険者数の減少率は上がっているか。
- ・ 県は市町村に対し、賦課方式を2方式に変更することについて、指導しているか。
- ・ 賦課方式の変更に起因して発生する市町村における問題や影響は何か。